小規模多機能型居宅介護「サービス評価」　総括表

法人名	豊立会	代表者	鈴木　俊孝
事業所名	まんざきの家玲光苑	管理者	坂本由紀子

法人・事業所の特徴	日々笑顔にあふれたアットホームな雰囲気の施設です。通いであっても自宅へ送ったら支援が終わりではなく、24時間ご利用者様の状況を把握して、必要な介護が出来るように支援しております。また、宿泊や訪問の支援も顔なじみの職員が支援しており、関係も深まり安心へと繋がっています。またご家族様と、情報を共有することでご利用者様の最適な支援へと繋げ、季節に合わせたイベントや外出行事も多く楽しみのある施設となっています。ご利用者様からの意見を取り入れ、活動に活かし、一人ひとりに合わせた日常生活動作の向上が図れるように支援をしております。朝の訪問支援や夕食を食べてからの送迎、急な宿泊の対応など可能な限り柔軟に対応して、独居の方の支援や、ご家族様の介護負担の軽減を図れるように努めております。

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援ｾﾝﾀｰ	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	9人	人	2人	2人	1人	人	6人	人	21人

項　　目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A．事業所自己評価の確認	今回の自己評価をもとに、一人一人の改善向上を図り、課題について職員が共有する事で多くの職員が『出来ていない』と答えたことについて、事業所として再度検討評価し、事業所としてのサービスの向上に努めていく。	『出来ていない』と答えた項目について、１人１人の意識向上に努めた。ご利用者様の日々の様子について情報の共有を徹底し、把握に努め、地域での暮らしのサポートができるよう、柔軟な支援と地域との連携又、スキルアップ向上の為研修参加への機会を増やすことができた。		各項目の改善内容について、必要な勉強会の出席を積極的に進めると共に、会議等で職員全体で検討を重ね、サービス向上に向けて、さらに取り組んでいく。
B．事業所のしつらえ・環境	家族や地域の方が、事業所に入りやすいよう、地域の方も利用者も楽しめるようなイベント、また役に立つミニ勉強会等を企画し、来苑しやすい環境づくりに努める。	回覧板等でお知らせをし、『高齢者の栄養』『疾病』についての勉強会や地域の方との消防訓練も開催することができた。今後も専門性を活かした研修会やイベントを企画していきたい。		施設の見学会や開放日を設け、地域の方に訪問して頂けるような環境づくりに努める。地域資源の把握と活用を視野にいれながら、地域の方や近隣学校との交流の場を増やしていく。
C．事業所と地域のかかわり	様々な機会を利用し、まんざきの家玲光苑の情報発信を行うと共に、地区行事にも積極的に参加し、普段から地域との顔なじみの関係づくりを行っていく。	毎月発行のまんざきの家広報誌を地域に配布、又ホームページにて普段の様子や活動報告を行っている。地域行事にもご利用者様・職員共に参加ができている。	・散歩をしていると職員の方は必ず挨拶をしてくれる。 ・アピールとして旗を持っての散歩はどうか。 ・大竹地区に住んでいるので情報が少ないのかもしれないが、まだアピールが足らないと思う。	今後も、他方面への情報発信を行う。地域イベント等への参加は積極的にできており、継続し行っていく。地域貢献を視野に入れながら、専門性を活かした活動やイベント等を行い、地域との繋がりを深めていく。
D．地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	地域に開かれた事業所として、地域との顔なじみの関係づくりのための取り組みとしてイベントや勉強会の実施を積極的に行っていく。	地域の方に協力して頂いての防災訓練の開催、又『高齢者の栄養』『疾病』についての勉強会の開催を行った。その他、イベントは、地域の方が声を掛けて下さることが多くあり、積極的に参加ができている。	・色んな行事にも参加しており、顔なじみの職員も増え、また、まんざきの家のアピールができていると思う。 ・回覧板に関しては、さっと目を通す程度で、人それぞれで把握していない方もいる。 ・今後も、まんざきの家に協力していけたらと思う。	松崎地区以外の地域にも、活動報告の他、支援内容や活動について知って頂く努力を行う。 地域のニーズにあった勉強会やイベントを継続し実施していく。
E．運営推進会議を活かした取組み	運営推進会議では、事業所の取り組みの説明だけではなく、地域に根ざした事業所として、地域の困りごと等についても委員に対して積極的に意見を求めていく。	運営推進会議を通し、地域の困りごと等について具体的なご意見は出なかったが、把握に努めながら事業所としての専門性を活かした活動や勉強会の実施ができた。	・年間を通して、玲光苑とお付き合いをしていきたい。（学校関係者）年間予定表を頂き、玲光苑との交流をお便りでアピールできる機会が出来たらと思う。	運営推進会議で出たご意見を、支援や活動、施設運営に活かしていく。また地域との協働した取り組みを計画し、風通しの良い施設づくりに努めていく。
F．事業所の防災・災害対策	地域の中の事業所として、地域の防災の１拠点としての役割を担う。運営推進会議のプログラムの１つとして、委員参加のもと施設の消防訓練を実施する。	地域にお住いの方や、近隣学校の先生、消防団、消防署の方協力のもと、防災訓練の実施ができた。実際の避難経路を一緒に確認しながら、施設内の把握もして頂いた。また、ご意見も頂き物品等の準備、避難経路の確保の改善を行う事ができた。	・現在、八生地区での消防訓練は実施していない。昨年、八生地区の大規模停電があったので、それも踏まえ地域でも検討をしていきたい。 ・防災と感染症対策をしっかりと行ってほしい。	地域の中の事業所として、地域の防災の１拠点としての役割を担う。運営推進会議のプログラムの１つとして、委員参加のもと、より多くの地域の方の参加を呼びかけ、施設の消防訓練を実施する。